

臨床検査学	1年・後期	1単位 15時間	教授 柳田 浩義
科目カテゴリー	看護の対象の理解	科目ナンバリング	32210391

### 1. 授業のねらい・概要

ある患者の疾患を診断し、治療の結果を評価する際に、臨床検査で得られたデータを元に議論を進めていくことが必須である。医療現場において多職種間で互いの専門知識を元に話し合い、最適な医療を行う際に、臨床検査データに関して共通の認識を持つことが重要である。この授業では、臨床で行われる検査にはどのようなものがあり、実際に検査がどのようにおこなわれるか、正確なデータを得るためにはどうすべきか、得られたデータをどのように解釈し、看護、治療に活かしていくかに重点をおく。

患者に対して、検査の意義、必要性をきちんと説明できるとともに、多職種間でディスカッションできる能力を身につける事を目標とする。

### 2. 学修の到達目標

1. 学生が臨床検査の役割、目的を理解し、あわせて看護師の役割についても理解する。(D-2)
2. 学生がおもな臨床検査の種類を知り、検査から得られる結果の意味について理解する。(D-2)
3. 学生が検体検査におけるさまざまな検体の種類と採取・保管方法について理解する。(D-2)

### 3. 授業の進め方

テキストに基づいた講義を中心に進めるが、参考資料のプリントの配布も行う。

【アクティブ・ラーニング実施有無】無し  
実施なし。

【ICT活用の有無】有  
オンラインメールによる定期試験の答案返却・解説の日程の一斉連絡ならびに補習の個別連絡

### 4. 授業計画（講義）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	第1部 臨床検査の基礎	講義	予習：事前に指定されたテキストの講義範囲を一読する。 復習：テキストの図、表を参照して講義内容を整理して理解する。	柳田 浩義
2	第2部, 第3章 一般検査	講義	予習：事前に指定されたテキストの講義範囲を一読する。 復習：テキストの図、表を参照して講義内容を整理して理解する。	柳田
3	第2部, 第4章 血液生化学検査	講義	予習：事前に指定されたテキストの講義範囲を一読する。 復習：テキストの図、表を参照して講義	柳田

			内容を整理して理解する。	
4	第2部, 第5章 化学検査	演習	予習: 事前に指定されたテキストの講義範囲を一読する。 復習: テキストの図、表を参照して講義内容を整理して理解する。	柳田
5	第2部, 第6章 免疫・血清学的検査	演習	予習: 事前に指定されたテキストの講義範囲を一読する。 復習: テキストの図、表を参照して講義内容を整理して理解する。	柳田
6	第2部, 第7章 内分泌学的検査	演習	予習: 事前に指定されたテキストの講義範囲を一読する。 復習: テキストの図、表を参照して講義内容を整理して理解する。	柳田
7	第2部, 第8章 微生物学的検査, 第9章 病理学的検査	演習	予習: 事前に指定されたテキストの講義範囲を一読する。 復習: テキストの図、表を参照して講義内容を整理して理解する。	柳田
8	第2部, 第10章 生体検査, 定期試験	演習	予習: これまで習得した知識をまとめ、アウトプットできるようにする。	柳田

## 5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は3分の2以上の出席した者）70%，講義時に適宜提示するレポート30%で総合的に評価する。定期試験の出題範囲は授業で取り扱った内容全てで、試験問題の点数は授業時間に比例して配点する。

## 6. テキスト・参考文献

テキスト：奈良信雄，和田隆志 編（2023）：臨床検査 第9版 医学書院

## 7. 準備学習に必要な時間，又はそれに準じる程度の具体的な内容

授業前に必ず教科書の予定範囲を一読して，概略をつかんで講義に出席すること。

講義前には教科書の内容把握に30分はかけること。また講義時には講義中のノートを参照した1時間の復習時間を設けること。

## 8. 受講上の留意事項

遅刻，欠席ならびに授業中の私語，許可の無い教室の出入り，授業に関係ない言動は慎むこと。

## 9. 課題に対するフィードバックの方法

試験の結果と模範解答は後日掲示する。質問・疑義は授業で，あるいは適宜個別に説明・対応する。

## 10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目である。修得できない場合進級不可となる。（履修要項・学生便覧参照）

11. 該当する本授業は、以下の実務経験を活かして実施される  
医師として長年培った臨床経験を活かして講義を行う。